

■中南米：イベルドローラ、中南米事業の中心はメキシコとブラジル

スペインのエネルギー大手イベルドローラは2016年2月24日、2016～2020年の中期事業計画を発表した。その中で、中南米での事業はメキシコとブラジルが中心になるとしている。同社は、本国であるスペインの他、米国、英国、中南米地域で事業を展開している。計画によると2020年時点で保有する発電設備容量は4,870万kWで、国別ではスペイン52%、メキシコ19%、米国16%、英国11%、ブラジル2%となる。2020年の発電電力量は1,680億kWhで、国別ではメキシコ38%、スペイン37%、米国14%、英国9%、ブラジル1%となる。同社は今後成長が見込める分野を米国では配電、米国と英国では再生可能エネルギー、メキシコでは発電としている。